



宮崎県

# みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

# こんにちは**議会**です。



## Topics

**12月定例会** (12月10日～12月21日)  
**町政を問う一般質問 (8名)**

**シリーズ** お隣さん、元気～山王原・仲町～

表紙写真:平成25年成人式

No. **70**

平成25年2月1日号

# 平成24年一般会計補正予算 まちづくり基本条例 可決

## 12月定例会

町議会では12月議会を、10日から21日までの12日間で開催。今回の議会に上程された議案は13議案、諮問1件、請願1件、陳情1件、報告2件で、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し、審議。議案の主なもの、条例の制定及び改正等6議案、24年度補正予算が7議案となっている。陳情1件の不採択を除き全ての議案が賛成多数及び全会一致で可決。また、6月議会で継続審議となった「三股町まちづくり基本条例」も賛成多数で可決した。



議会を熱心に傍聴される町民の皆さん

### 平成24年度 一般会計補正予算

今回の議会では、衆議院議員選挙の執行にともなう専決処分した予算について9億65万6千円を追加し88億7,434万1千円とした。

#### 承認

さらに、平成24年度の追加需要額を見込むとともに、各種事務事業の変更、決定、実績見込みによる所要の補正を行なうため、4,050万8千円を追加し、89億1,484万9千円とした。

#### 全会一致で可決

### 平成24年度 特別会計補正予算

国民健康保険  
後期高齢者医療保険  
介護保険

介護サービス  
公共下水道事業  
全会一致で可決

### 条例改正

三股町防災会議条例及び三股町災害対策本部条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の改正により防災会議の構成員の充実に実を図る。

#### 全会一致で可決

三股町一般廃棄物最終処分場等に置かれる技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例

三股町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

三股町公共下水道条例の一部を改正する条例

第二次地域主権改革一括法により町の権限を規定した。

#### 全会一致で可決

工事請負契約の変更  
塚原団地B棟機械設備工事設計変更による減額。

#### 全会一致で可決

宮崎県市町村総合事務組合規約の変更  
事務の削減により規定を削る。

#### 全会一致で可決

人権擁護委員の推薦

#### 適任



山之内 絹代氏(新任)

# 三股町まちづくり基本条例 審査特別委員会審査結果報告

## 委員会審査結果

委員会は、次期の定例議会平成25年3月議会で、「一部改正する条例案を提出すること。」との附帯意見を付けて、賛成多数で可決した。

まちづくりは、住民・行政・議会が三位一体となり推進するものであります。そこで、議会の記載を次の三月定例議会に「議会の条文」を加える、一部改正条例案を提案されることを附帯意見として付ける。

## 少数意見

「まちづくり協議会」で十分ではないか。また町民等の記載について外国人も含むのか、町政が混乱するとの意見があった。

## 審議経過（抜粋）

第一回 6月18日

委員選任 執行部詳細説明

第七回 11月20日

議員全ての論点と意見

第八回 12月12日

委員会の結論確認 陳情書

## 検討

### 本会議審議結果

賛成多数で可決

## 陳情

「三股町まちづくり基本条例」の制定に反対する陳情書  
みなし不採択

# 新聞報道「文教のまち行政混乱」 信頼回復を求め、教育長と町長に注意

新聞記事「文教のまち行政混乱、三股町教育長がパワハラか」との記事について真相究明を諮った。

## 議会運営委員会

議会は20日の記事について21日議会運営委員会で事の真偽を確認するための会議について次のように決め本会議に諮った。

議会採決前に全員協議会を開き、教育長、町長から事実関係を確認することとし、本会議では全会一致で議会運営委員会の提案を可決した。

## 全員協議会

全員協議会では、教育長、町長に出席を求め、新聞記事の内容について任意の聴取を行った。

全員協議会での総意は、本会議場で議長による注意勧告をすることに決した。

## 議長の注意勧告

今回新聞報道等で著しく文教の町、三股の名を貶（おとし）めたことは、三股町民にとつて大変恥ずかしく、信用失墜、不信を招いています。話を聞いて教育長の考えは理解できませんが、取った行動は配慮不足、行き過ぎると言わざるを得ません。今回のようなことは、二度と起こらないように信頼関係の構築を図るよう注意勧告いたします。

## 選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員会委員及び同補充員については、12月21日をもって任期満了となることから選挙を行い、議会が委員を選出した。

選出については、議長による指名推薦とし議会では、異議なく認めた。

- 山元 秋夫氏 町田 胤夫氏
- 山村 治氏 此本 皓男氏

## 補充員

- 問世田和文氏 岩元 安子氏
- 上水 漸氏 馬渡 豊子氏

## 請願

「教育の日」制定に関する請願書

地区住民が教育の現状や課題について考え、重要性を認識し、健全な青少年の育成を目指すきっかけとする。

## 採択



赤ちゃん相撲の様子

## （お詫び）

69号に紹介いたしました固定資産評価審査委員会委員の氏名は、木佐貫克美氏が正しく不手際をお詫びします。

一般質問は8人。地元産業の活性化、教育問題（いじめ問題）や、農業問題や子育て支援など三股町が抱える様々な問題について白熱した議論が展開された。



福永廣文 議員

General question

## 一般質問

# 「日本一の肉牛の町」 のフレーズを 活用する町の 取り組みは

## 町長 関係機関と相談しながら 検討する

### 問

「第10回和牛能力共進会長崎大会」において、9区肉用牛部門で親子連続首席に輝いた福永昇さん透さんの偉業は、今後おそらく破れないものと思う。この「日本一の肉牛の町」の栄誉のフレーズを町として活用し、町のさらなる活性化並びに宣伝に役立てるべきだと思う。町として具体的な取り組みの計画はあるのか。

**町長** 蓼池の福永透さんが、第10回全国和牛能力共進会長崎大会の第九区で見事に首席を獲得された。また7区から9区の全枝肉部門175頭の中で最も優れた枝肉に贈られる「最優秀枝肉賞」を受賞し、名実ともに「和牛日本一」になったことは、ご承知のとおりである。

この「日本一の肉牛」という栄誉は町の活性化並びにPR用のフレーズとして充分価値のあるものと考えている。

具体的な取り組み検討はこれからだが「和牛日本一の町三股」といったフレーズを使っ

た既存のパンフレットへ「肉牛日本一」のシールを貼り付けたり、牛肉の消費拡大キャンペーン、畜産全般に及んだPRなど様々な案が考えられるので、観光協会や商工会などの関係機関と相談しながら検討したいと考えている。

この成果は、少なくとも5年間タイトルとしても使えるので、三股町そのものをPRできるように考えていきたいと思っている。

### 問

町として今後5年間は「日本一の肉牛の町」をPRできると言われるが、過去5年間においても日本一の肉牛の町であったので、このことも踏まえて検討してほしい。庁舎の正門脇や、国道の町境などにそれなりの看板設置などもぜひ必要だと思う。

**町長** 十分に検討し、より効果のある宣伝ができるよう対処する。

# 「教育委員会で パワハラがあったか」

## 教育課長 ありました



池 邊 美 紀 議員

**問** 学校でのいじめを指導監督する立場の教育委員会で、暴言を吐く、机をたたき、大声で威圧するなど、継続的に精神的に追い込むようなパワハラがあったと聞くが、あったのか？

**教育課長** ありました。

**問** 小学校の段階では町内学力順位がわからないので、中学に進学してあわてると聞く。小学校の段階で町内一斉テストを行い、学力レベルの把握をし「文教のまち」として学力向上を目指すべきではないか。

**教育課長** 県下一斉テストもあるもので、検討していく。

### 長田地区過疎化対策は

**問** 長田地区における、町営住宅の進捗状況を問う。

**町長** 長田地区仮屋の、旧町営住宅跡地を候補地として、社会資本整備総合交付金事業により、25年度建設予定で進めている。

**問** 月に一度開催されている長田物産展はかなり賑わっている。その会場となる長田峡広場の整備（首塚移転、埋め立て）や物産館建設を問う。

**町長** 物産展が定着し年間を通じて交流人口が増えていけば、広場の整備や物産館の検討もありうる。

### 町外への発信の充実を図れ

**問** 町外発信のために新しいキャッチコピーが必要ではないか。また、町内で知名度が高いミマタレンジャーを積極的に活用すべきではないか。

**町長** 今後、新しいキャッチコピーの必要性があれば検討していく。また、ミマタレンジャーは、テレビ出演などをして活躍している。商工会などと協議を重ねて有効活用を図る。

**問** 他の行政ですすめているように、若い人への協働参画や行政PRなどにフェイスブックをもっと活用すべきではないか。

**町長** どのように推進していくかわりキンググループを、立ち上げ現在検討が始まっている。

### 町内各地区活性化策を問う

**問** 町内における各地区要望の吸い上げが不十分だと思うが、

どのようにしているか。

**町長** 地区座談会、公民館長会議、行政事務連絡員会議などがあるが、新たな方法がないか協議していく。

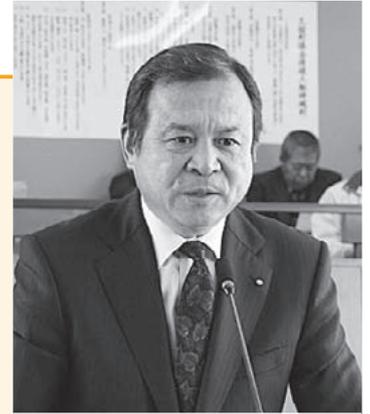
**要望** 他の行政では、地区担当職員を配置することで職員が地区の現状把握を行い資質向上が図られている。また、地区と行政の信頼関係が構築され地域活性化につながるのを検討すべき。



町営住宅（長田）

# 「日本一、宮崎牛、三連覇への 取り組みは」

## 町長 技術力の高さを 全国に発信したい



内村立吉 議員

### 問

第10回全国和牛能力共進会が行われた。5年に一度の開催で和牛オリンピックと呼ばれる。本県から9区分に28頭が出場。口蹄疫からの復興と全国からの支援に対する恩返しへの思いを胸に連覇を狙うということで本県代表の農家25人が望んだ。出品牛の内訳は、西諸・南那珂・西白杵の出品牛が主である。県内で最も頭数の多い都城、三股の牛が1頭だけである。都城市、三股町の行政、JAが主体となり、生産者を含めて次回に向けての取り組みをしたらどうか。行うことによって若い人に夢と意欲を与える、地域の活性化にもつながっていくのではないか。

**町長** 第10回全国和牛能力共進会で宮崎県は前大会に続き、連続日本一に輝いた。本町の福永透さんの出品牛が、優等首席と最優秀枝肉賞を受賞した。畜産王国都城としても最高の結果が得られた。

**産業振興課長** 現在、次の全共に向けて、都城・三股を主体とした数回の検討会議がなされている。

### 次世代に対する種雄牛の 対策は

### 問

次世代に対する種雄牛の期待は大きい。県より財政的支援を行ってほしい、早期に間接検定を行ない、宮崎牛アピールに努めてほしいが。

### 副町長

支援対策事業を具体的に検討をしていると共に、育種価等に基づいた次世代の素牛を導入して育成し、宮崎牛の発展に貢献していく考えである。

### 人・農地プランの政策は

### 問

全国の農村で人・農地プランの作成が進められている。食料自給率向上を重視して幅広い農家を支援するのか、それとも担い手育成や農業の競争力強化に軸足を置くか、論議があると聞くが。

### 町長

この人・農地プランは、新規就農支援、農地集積支援の支援事業が柱となっている。農業の競争力強化に軸足を置き、耕作放棄地等の解消を図りながら食料自給率向上を目指す施策である。

### 三股町事務事業外部評価は

### 問

本町の事務事業外部評価の結果、8つの事業で、見直し(3件)、現在の通り(2件)、拡充(3件)という評価であるが、地域での声を聞いていくのが、いちばんではないかと思うが。

### 町長

多数意見はその事業の評価結果とし講評したところだが、委員の立場での評価であり、意見もさまざまである。予算に反映できるものもあるかどうか慎重に検討しながら、事務事業の改善をする。



日本一に輝いた宮崎牛（福永さんご夫婦）

# 「子育て支援を どのようにすすめるか」

福祉課長 国・県の動向により、再検討の時期に差し掛かっているなど取り組み目的は達成されている



堀内 義郎 議員

**問** 三股町地域活動クラブ育成補助事業の見直しは。

**福祉課長** 地域活動クラブから「子供会及び公民館の活動とだぶりが多い様に思え、出来れば統一すると予算も増え活動の幅ができるのではないか」、「子供会等の組織・活動に統合すべき」との意見を頂いたから見直した。

**問** 少子化に伴い、児童館の閉館や地域活動クラブの縮小が考えられるが、今後、これらに代わる事業の取り組みはあるか。

**福祉課長** 将来的に各小学校に児童クラブ室を配置できた場合、補助金適正化法の適用年数の経過ごとに各児童館を地域福祉センターとして変更していき、児童の遊び場や地域住民が自由に利用できる方向で検討する。しかし、少子化の進行状況によっては、地域の実態や声を踏まえ対応していく。地域活動クラブについては、これに代わる事業の取り組みは考えていない。

三股小学校の児童数減少の対策は

**問** 谷・中米地区は児童数が少ない上、地元からも要望があがっているが、対策は可能か問う。

**町長** 具体的な対策はない。少子高齢化により、子供会や自治公民館・消防団・壮年会などに影響が出ると思うが、町全体の課題として地域と行政が一緒になって考えていかなければならないと思う。

**問** 空き家を子育て世代に利用出来るよう、助成できないか問う。

**福祉課長** 空き家については、約360件ほど確認している。今後は再利用の可否や状況等を確認し、検討していきたい。当面は、住宅リフォーム事業などを活用していただきたい。

櫛田地区、長友ストアー前交差点の通行の安全確保は

**問** 櫛田地区、長友ストアー前交差点を登校時に児童が横断する際、通行量が多く大変危険である。信号を設置し、安全確保出来るよう

に改善できないか。

**都市整備課長** 今年8月に行われた通学路点検において、特段要望等はなかった。信号の設置については、交差点西側の道が変形的なので難しいが安全対策として、ラインによる交差点表示等を検討していきたいと考えている。



三股小児童クラブ室

# 「暗い道路・危険箇所の 点検と改善策は」

## 町長 LED化に向け 年次的に考えていきたい



上 西 祐 子 議員

**問** 他の町から移り住んだ人達が、三股町は街灯が少なく暗いとよく言われる。

5年前、通学路に街灯を設置され改善はされたが、まだ暗い所が沢山ある。

防犯対策上からも暗い道路、危険箇所を点検・調査して明るい町づくりを年次的にすすめられないか。

**町長** 街路灯には、集落内の防犯灯と通学路防犯街路灯があり、集落内の防犯灯の電気料、電球取替え、修繕などは自治公民館等が負担している。新規の要望に対しては要望箇所を調査し、予算内において防犯灯を設置している。

また、長寿命や省エネを図るため新規についてはLED防犯灯を設置しており、既存の防犯灯もLED化に向け検討を行っている。

通学路防犯灯については、中学生の通学路で、集落と集落間で防犯灯が設置されていない箇所到现在175基設置されている。

**問** 先般中学校PTAで取り組まれたアンケートの資料を見ると、各地区で街灯が少なく日没後は危険な所が多いと心配する声が多数あった。本町で安心して暮らすため

にも防犯灯、通学路街灯の点検・調査し、明るい町をつくるために年次的に取り組むべきだと考えるが、町長の考えを聞く。

**町長** 本町には防犯灯だけでも1、500基ある。これを一齐にLEDにするには5千万円程費用がかかるので、年次的にやるために財源をみながら考えていきたい。

### 教育問題の支援体制状況は

**問** 昨今の学校教育現場は、児童のいじめ問題、特別な支援を必要とする児童の増加など多岐に渡る問題が起こっている。学校の抱える問題、児童の教育に携わっている先生の抱える悩みなど、教育委員会として学校や教職員に指導や助言を行なうことは重要な任務だと思うが、本町には専門的な事務職員は配置されていないため指導・助言などできない状況にあると聞いている。現在の支援体制の状況を聞きたい。

**教育長** 教職員は、いじめ・不登校・特別支援教育などさまざまな諸問題に懸命に取り組んでいるが、専門的知識や経験を有する職員が少ない状況である。担任及び町独自の採用による特別支援員により対応をしている

る。町ではスクールアシスタントやカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等をお願いし、担任の先生や養護教諭へのサポート体制の強化を図っている。今後は専門職の活用も図っていききたいと考えている。



LED 街灯

# 「都城インターから本町への 道路標識の増設を凶れ」

## 町長 各方面のご意見を 伺いながら検討する



指宿 秋廣 議員

### 問

本町は、「アスリートタウン  
みまた」と、スポーツ振興に  
力を入れているが、高速道路イン  
ターチェンジで料金精算所から本町  
まで来るには大変解りにくい。そこ  
で道路標識を増設することは出来な  
いか。

**町長** 都城インターから役場まで  
4ヶ所の道路標識がある。まず都北  
交差点手前、国道269号線と交差  
する神之山手前、前目の今市に行く  
T字路手前、下新の交差点手前であ  
る。具体的に提案があれば検討した  
い。

### 要望

都城インターから、1番目の  
都北交差点手前まではすでに5ヶ所  
の道路標識があり、三股の文字は  
1ヶ所もない。1番問題なのはイン  
ターの料金所からすぐ目の前には、  
右は高城、左は都城・鹿児島標示  
だけで三股がない。まず、この地  
点から標識増設の検討を求める。

また、いま建設中の医師会病院へ  
の交差点にも道路標識を設ける必要  
がある。

### 問

現在B級グルメが大変な話題  
を呼んでいるが、本町でも地  
場産品を多く含んだB級グルメの開

発をすることはできないか。

**町長** B級グルメは、話題性などか  
ら観光にも活かすことができ、本町  
でも試作品開発やイベントなどで試  
験販売をしている。

昨年度は、本町で多く作付けされ  
ているサトイモを使った「みまた㊦  
里芋揚げボール」や学校給食として  
提供している「みまた㊦メンチカツ」  
を用いた「みまた㊦メンチカツdeタ  
コス」を、MRT感謝祭市町村グル  
メコンテストに出品している。

このような新規開発のB級グルメ  
で可能性を図り、三股駅前の「よか  
もんや」などで販売できるように検討  
を行っている。

### 要望

三股町内での地場産品の総収  
入額が、平成18年度までしか把握さ  
れていない。本町の主幹産業が農業  
であると言うのであれば、総収入額  
を発信できる体制にするべきであ  
る。

### 問

以前の議会でも質問したが、  
教育の一環である学校給食  
が、アレルギー対策に対してその後  
の対策と取組状況を問う。

**町長** 牛乳の供給停止とアレルギー  
対策用の献立表に使用する原材料を

明記して、保護者に確認してもら  
い、その日の給食を摂るか判断して  
もらっている。

アレルギー食を作るためには、通  
常と違う調理ラインの整備や設備、  
器具の整備、人員体制などかなりの  
費用が必要となるため、これまでと  
同じ対応をしていきたい。

# みまた㊦メンチカツ de タコス風



みまた㊦B級グルメ



# 「LED照明で省エネを図れ」

町長 一部に導入しているが、  
今後計画的に取り組む



池田克子 議員

**問** 昨年の福島原発の事故を受けて以来エネルギー政策の転換が大きな課題となっている。公共施設や街路灯での省エネ対策の取り組み状況は。

**町長** 昨年度より空調の稼働時間の短縮や照明の消灯など量的削減に取り組む庁舎では平成22年度と比べ電気使用量が21%の減となった。通学路防犯街路灯は施設の取り替え等に合わせ検討する。防犯灯は新規設置を今年度からLED防犯灯で対応している。

**問** エコにつながり電力消費量も抑えられコストダウンされるLED照明へ切り替える計画は。

**町長** 公共施設は費用対効果や住民生活への影響に考慮しながら計画的に取り組む。防犯灯は設置箇所が1、500箇所を越えるため、導入方法等について検討する。

**問** LED照明へのリース方式が各地で導入されている。リース方式によれば初期費用の削減になる。模索してはどうか。

**町長** 全国的にも取り組んでいる自治体がある。各公共施設毎に省エネ化を図る際には検討していく。防犯

灯については、契約数が多く導入のメリットが不明である。LED化の中で検討する。

町活性化のために、もっとPRを

**問** 町活性化のためのPR作戦は大変重要である。他市町にくらべて当町では、盛り上がりがないか。現在実施しているPR以外の取り組み状況は。

**産業振興課長** イベント情報等をMRラジオや地域雑誌へ随時提供。また、県が開設している各地の事務所へパンフレットやポスターを送付。今後、携帯サイトやカーナビサイトへの登録も予定。

**問** 以前、商店街の活性化にむけて大型商業ゾーンの計画があったが実施されなかった。今こそ自治体のリーダーシップが求められる。町長の理念を聞く。

**町長** 町の顔となっている核をつくっていく、バランスのとれたまちづくりや個性ある地域づくりをしていく。

**問** 商工会・農協とのタイアップで町外へ向けたPRの計画は。

**町長** 次年度「ゴマ」を加工品として開発しPRにつなげる。また商工会、農協の協力を得て、物産品の販売会やPRを福岡・熊本で実施できないか検討中。

**問** 「肉牛日本一」は当町のPRの大きなきっかけとなる。県の協力を得て東京でのPR作戦ができないものか。

**町長** 県と畜産関係者とタイアップしながらPRできるように要望していきたい。



三股町観光ポスター



# 追跡

## レポート

あんた  
どげんなったな?



### 女性委員の積極的登用を

防災会議へ女性委員の積極登用と女性の意見を反映させる取組みをすべきではないか。

平成 23 年 12 月定例議会  
一般質問

### 町長答弁

防災計画に女性の意見を反映することは重要と認識、仕組みづくりを検討する。

### こうなりました

三股町防災会議委員として日本赤十字社宮崎県支部三股町日赤奉仕団委員長の内村ノリ子氏が委嘱された。



### 太陽光発電に補助を

再生可能なエネルギーとして、太陽光エネルギーが促進されているが、町独自の太陽光発電システムの設置助成制度を創設してはどうか。

平成 22 年 9 月定例議会 一般質問

### 町長答弁

町としてもっと推進するという意味合いを含めて支援していく。

### こうなりました

平成23年度から三股町住宅用太陽光発電システム設置費補助金を開始。



長田物産販売の様子

議会事務局からの  
お知らせ

3月議会は、  
3月6日からの予定  
町民の方の多くの議会傍  
聴をお待ちしています。

# 委員会研修報告

## 建設文教常任委員会研修

11月5日～7日にかけて兵庫県多可町の「住宅対策関係と各種助成事業」、大

阪市会の「議場と図書室」、奈良県吉野町の「吉野流域の林材業の概要」、奈良市議会の「まちづくり条例」、斑鳩町「バイオマスタウン構想」について研修した。

初日の多可町では個人の木造住宅を新築することで助成し、地元産材や業者を利用する事で活性化を図っていた。大阪市会では議場と約5万冊の蔵書がある図書室を見学した。

2日目の吉野町では建材センターと原木市場を訪問し、吉野杉・檜について説明を受けた。



吉野流域林業活性化センター

奈良市では、まちづくり条例の経緯と現状の説明を受けた。

3日目の斑鳩町では、将来的にゴミを出さないような取り組みとして、たい肥や廃油のリサイクル、エコポカードの利活用の説明を受けた。

## 総務厚生常任委員会研修

11月8日・9日で鹿児島県長島町の「ふるさと景観条例」と「熊本県水俣市久木野ふるさとセンター愛林館」の運営方法を研修した。

「ふるさと景観条例」は豊かな海・山の美しい自然や歴史的文化遺産を生か

し、地域住民の意見を踏まえたうえでふるさとの景観づくりを推進し、「魅力ある個性豊かな住みよい町を創出する」であり、町内の石で花壇を作ったり、公共事業等の施行で特色のある花木を植栽したり、自然石を利用し景観に配慮する事です。



水俣市久木野ふるさとセンター愛林館

水俣市久木野ふるさとセンター愛林館の運営方法は、過疎で高齢化なので行事を行うのは地域以外のボランティアに愛林館の情報を発信し、田植えや稲刈りに協力をお願いし、行事の活性化を図っていた。

# 高原町と交流会

高原町議会と三股町議会は毎年会議を行い、議会での様々な問題を研鑽しています。今回（12月1日）は議会報告会等について活発な意見が論議されました。

県南に2つしかない町の行政パートナーとして今後も交流を深めていきたい。



高原町議会との交流会



たちまち燃え上がる火、ワクワク。



# 「新春オネッコ祭」

山王原・仲町合同で取り組むお祭り



## 仲町 自治公民館

### 【目標】

地区住民の考えや思いを大切に、心にゆとりと、明るいふれあいのある地域づくり。

久保行義館長



## 山王原 自治公民館

### 【目標】

人の和を中心として連帯感と教養を高め、人間性豊かな人づくり、明るく住みよい郷土づくり。

木佐貫三男館長



みんなそろって厄払い



ぜんざいが、またうまい。

自治公民館を中心に、子ども会、壮年会、地域活動クラブなど、きっと活躍できる場所があります。隣近所の方々との親睦で、安心できる住みよいまちにしましょう。

自治公民館加入案内  
三股町・三股町自治公民館連絡協議会  
電話 52-1111 内線 181



## 編集後記

年末に政権が変わった。それにより今年には経済が好転し、地方が元気になり日本全体が活気づく事を願うのは、日本国民大勢の意見であろう。かなりの大型補正予算編成となるようだが、三股町はこの波に乗れるか？いや、この大波にのって元気なふるさとの先頭に立ち、地方活性化を進めなければ次の波はいつまで待っても来ないかもしれない。今度の波は様々な計画を前倒しで進める大チャンスである。

さて今年己年。己は「探究心と情熱の象徴」ということだが、まちづくりにつながるフレイズであり、ふるさと三股町の活性化に欠かせないものである。  
是非とも執行部は蛇のように執念深く、大型補正予算を獲得してほしい。三股町発展のために、日本の元氣を取り戻すためにエールをおくりたい。

### 議会広報編集常任委員会



- 委員長 池田 克子
- 副委員長 堀内 義郎
- 委員 桑畑 浩三
- 委員 池邊 美紀